

外まき型生体弁に関する患者さんの情報の研究利用 についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター心臓血管外科では、「当院における外まき型生体弁（Trifecta および Crown）の臨床成績：後ろ向き観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、大動脈弁置換術を受けた患者さんの長期的な臨床経過を調べて、外まき型生体弁の安全性および耐久性にどのような影響があるかを明らかにすることです。

この研究のため、2013 年 4 月 1 日より 2023 年 12 月 31 日までに手術を受けられた方の診療録、心エコー・CT などの検査データを調査いたします。対象となるのは、Trifecta（トライフェクタ）あるいは Crown（クラウン）弁を用いた大動脈弁置換術を受けられた患者さんであり、調査項目は年齢、性別、基礎疾患、術式、術後経過、再手術歴、検査所見などの医学的情報のみです。

患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがありますが、個人が特定されることはありません。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025 年 7 月

研究責任者 東京医療センター 心臓血管外科
田邊 由理子 連絡先：03-3411-0111（代表）